

平成 28 年度

地域力応援基金助成事業 活動報告書



地域力推進課 区民協働担当

平成 28 年度実施 地域力応援基金助成事業 活動報告書 もくじ

平成 28 年度スタートアップ助成

.....3

■新規

団体名	事業名
うのき水辺の楽校協議会	多摩川の自然と遊ぼう！自然から学ぼう！
おおた地域包括ケアシステムをすすめる会	住み慣れた地域に貢献する！
おおた生涯学習世話人会	地域おしゃべり講座（地域出前）推進事業
大田区外国語ボランティアガイドグループ	大田区来訪外国人対応ボランティアガイド

■継続（平成 27 年度より実施）

団体名	事業名
東京ノルディックウォーキングクラブ	40 代から始める健康づくり・仲間づくりノルディックウォーキングメソッド
茶道キャラバン喫茶去（きっさこ）	茶道の体験出前授業 区内茶室での茶会開催・出張茶会開催
学校支援地域本部サポート松仙	防災教室 つながりが命をすくう —つながろう！つなげよう！—
一般社団法人木谷ウォーキング研究所	①大田区六郷ポール de ウォーク学校 ②おおたポール de ウォーク・リーダー養成研修会
新名所「新馬込橋」活性化実行委員会	新名所「新馬込橋」活性化実行委員会事業 28 年度「馬込の月見まつり」拡充版
バンダナクラブ	修了生フォローアップと社会参加と認知症予防のための 「絵本の読み聞かせ講座」
英会話同好会 fromOTA(略称 EDO 会)	入門からはじめる英会話サロン【EDO 会】
EXPRESSION（エクスペッション）	2017 年春開催予定のミュージカルコンサートに向け 【毎月ワークショップ開催】

■新規

団体名	事業名
おおもり子育て応援隊	大森地域の子どもの居場所づくり&学習支援教室の開設と子育て家族の応援
特定非営利活動法人大森まちづくりカフェ	おおたユニバーサル・ワークショップ ～地域文化 de ふれあいづくり～
大田区障害者スポーツ倶楽部	スポーツを通じて地域の多様性を創出する事業
昭和のくらし博物館	まちごと体験ミュージアム
特定非営利活動法人福祉コミュニティ大田	蒲田から発信！サロン活動で楽しく地域包括ケアシステム！
縁プロジェクト	「防災セミナー」・「宿泊型避難所疑似体験防災研修」
多摩川七福神実行委員会	多摩川七福神『縁日』の開催による地縁づくり

■継続（平成 27 年度より実施）

団体名	事業名
劇団山の手事情社地域振興グループ	「≪演劇的教養≫の活用による、区民のより豊かな精神生活実現事業」
特手非営利活動法人読み聞かせネットワークヒッポ	大田区読書推進ボランティアスキルアップ養成事業
特定非営利活動法人障害平等研修フォーラム	大田区における障害の社会モデル理解普及活動 －障害平等研修編
特定非営利活動法人大田ウェルネスクラブ	地域での運動・スポーツ活動推進事業（元気をはっけん事業）
一般社団法人レガートおおた	もうひとつの学びの場プロジェクト
一般社団法人田園調布グリーンコミュニティ	「インターバル速歩」いきいきトレーニング
大岡山北口商店街振興組合自治会	大岡山駅前広場花壇整備

うのき水辺の楽校 多摩川はおもしろい！

事業名 多摩川の自然と遊ぼう！自然から学ぼう！

助成額

40万円

◆地域での課題

身近にある多摩川は多くの人々の願いや関係機関の努力により水質が改善され、多くの生き物・自然が戻ってきた。しかし、昔川で遊んでいたころの経験が途切れてしまい、子供たちが安全に川で遊ぶことが難しくなっている。安全に川で遊ぶことの楽しさや水辺の動植物に対する関心を高め、学び、さらに環境を良くしていくことの大切さを、子供たち、保護者、地域の人々と共に考え、活動することが地域理解につながると考える。

◆基金事業概要と達成した成果

- ①どの回も予定または、それ以上の親子の参加者が集まり、多摩川の魅力的な自然と触れ合い盛況であった。事務局のある嶺町小学校以外の小学校などの参加者が増え、地域へ広がりがつある。
- ②町会掲示板に貼っているポスターは、地域の方々が興味を持ち、事務局の仕事のお手伝いの申し出もある。
- ③助成金の交付により、経験豊かな講師陣を迎えより充実した内容で実施ができた。
- ④毎回参加する高学年の子供たちは、スタッフの手伝いを率先して行い、低学年へ教えることを楽しみに参加し、自然に対する視野も広がっている。
- ⑤購入した「うのき水辺の楽校」名が入ったピブスとのぼり旗は、参加者が一目でわかり、安全面でとても役立っている。

◆これからの取り組み

- ①中・下流域の「水辺の楽校」で生き物調べを行い、子供同士の交流を図る。
- ②運営面では、事務局がある嶺町小学校以外の学校や地域からのスタッフ・事務局メンバーを募り、地域的な広がりを目指す。
- ③地域に在住する専門家からの助言を受け、活動内容の充実を図る。
- ④地域の青少年を、スタッフとして育成する。
- ⑤資金的には、参加者を増やし収入を増やす。大田区の補助金を受け、財政的に安定させ、活動内容を広げる。



第2回干潟に行こう
5月22日、大師河原でアシハラガニなど多くの種類のカニなどの生き物を調査した。



第3回 ガサガサ体験
6月18日、嶺町小前の多摩川で、ヌマチチブ、テナガエビ、水生昆虫を採集した。



第6回 Eボート体験と昆虫観察
9月24日、嶺町小前の多摩川で、Eボートを漕ぎ、自分たちで採集した昆虫の観察説明を熱心に聞いた。



第7回 丸子の渡し祭り
10月30日、うのき水辺の楽校のミニ水族館で子供スタッフが生き物の説明をした。

団体名 うのき水辺の楽校協議会

会員数 28人 設立 平成25年 8月

団体の活動目的
活動実績

大田区鶴の木地区の多摩川沿岸で活動している団体と町会、大田区関係機関、国交省などの河川管理者が連携し、子供たちの自然体験や交流を通して、多摩川における良好な水辺環境づくりや自主的・主体的な環境教育を行うことを目的としている。具体的には、生き物調査（ガサガサ体験）、野鳥や植物・昆虫観察、Eボートなどの体験活動を安全面に留意しながら行っている。

ささえあいのあるまち『おおた』を区民の力で創る

事業名

住み慣れた地域の貢献する！

助成額

20万円

◆地域での課題

誰もが自分らしく住み慣れた地域で暮らし続けるための地域の仕組みが「地域包括ケアシステム」。このシステムが大田区で充実したものになるのに必要な要因として、区民ボランティアの育成をはじめとした、地域福祉に参画する区民づくりだと考えている。



◆基金事業概要と達成した成果

地域包括ケアを可能にするボランティアの掘り起こしを行い、今ある資源をつなぎ、専門職による介護福祉の基礎知識を学ぶ講座や、ボランティア受け入れ団体とボランティア自身の得意分野や力を伸ばす地域の念とワークにおけるマッチングを行えるようにする。現在大田区社会福祉協議会との協働で「ボランティア入門講座」実施中。次回は2月22日開催。

地域活動を始めよう～ボランティア入門講座～

12月15日大田社会福祉協議会との協働で開催しました。地域活動として、こども食堂、地域サロン、学習支援などを紹介



◆これからの取り組み

区民活動団体と、社会福祉協議会との協働をより強化して、ボランティアの入り口を区民により見えやすくさせ、ボランティア人口の拡大をめざす。医療・福祉・介護の専門家や、行政、区民活動団体との協働・協力をすすめる、大田区型の地域包括ケアシステムを大田区一丸となって創っていく機運を高める。



東御市民間介護・福祉事業者連絡会との交流

地域包括ケアシステムを考え合うために、大田区と姉妹都市でもある長野県東御市の介護事業者の皆さんが大田区に視察訪問に来られました。すすめる会との意見交換もしました。

団体名

おおた地域包括ケアシステムをすすめる会

会員数

60人

設立

平成 27 年 7 月

団体の活動目的
活動実績

地域包括ケアシステムが大田区に創り出される機会に、区民活動団体も共に包括的に互いにケアできる地域になるために活動しようと集まりました。地域の医療・福祉の専門家と学び合いながら、専門家だけに任せるのではなく、行政と結び合い、主体的に関わり、ともに気持ちよく住み続けられる地域を築きたいと考え、住民、市民が参加できる機会と場面を設け、各団体のネットワークが連携協働する仕組みづくりを創り出すための活動をしています。

地域に出向き、おしゃべりで学ぶ暮らしを！

事業名 地域おしゃべり講座（地域出前）推進事業

助成額

33 万円

◆地域での課題

区民に幅広く理解されていない「生涯学習」の普及・展開事業は、平成 27 年度以降地域力推進課に移管され、「生涯学習」が更に弱体化している。地域ごとに楽しく学ぶ「生涯学習」活動を定着させるため、地域特性にあった連携団体先を開拓し継続できる仕組みを構築する。

◆基金事業概要と達成した成果

地域ごとのニーズに対応するため地域へ出向き、様々な異なる講座内容や事業の連携先の開拓にチャレンジし、人材育成、人材発掘も兼ねた事業である。

成果として地域の特別出張所や自治会・町会に理解していただき、講師を住民や地域団体と連携した結果、人材育成や人材発掘にも繋がっている。また、各講座は予定を超える集客力もあり、講座内容にも満足いただいている。

◆これからの取り組み

運営方法は人材確保や資金確保、連携先との強化も含め最適な仕組みづくりを目指す。テーマの幅も広げ、連携先団体として「学び」の地域学のススメや環境マイスターの会などと繋がりを持つ。

更に「生涯学習」に対し、行政や地域との住み分けを考えていきたい。地域の活動は地域の団体が主体に継続的に企画・運営ができる体制作りをめざす。

第 1 回（蒲田地区）「地域包括ケアシステム」について介護保険が大きく変わり、課題が目前に迫っているのに区民の関心が薄いので啓発と具体的な対応（支え合い活動）について話し合った。講師は地域包括支援センターの大屋さんをお願いした。



第 2 回（千束地区）防災ワークショップ

地域ごとに 5 グループを作り、防災をテーマとしたワークショップを実施しました。特に住民同士のおしゃべりを大切にしました。

講座内容	学習支援者
【地域特性を理解しよう】 歴史上氾濫を繰り返した多摩川流域にある矢口・下丸子地域の地形・地盤の特性および地震の影響について分かり易く解説します	岸田三好氏 (大田区在住の地質専門家)
【わがまちで先進的防災対策に取り組む自治会の活動とは！】 東京都防災隣組の認定を取得している「古市町会」[多摩川ハイム自治会] の関係者から防災体制を作り上げる苦労話、現在の取り組みなどのお話を聞き、受講者を交え共助について話し合います	古市町会 多摩川ハイム自治会 の関係者
【家具転倒防止実演講習】 家具転倒防止対策の普及活動をされている専門家から私たちでもできる家具転倒防止対策を実演を交えながら教授します	篠原進氏(大田区在住の専門家) 防災まちづくり研究会

第 3 回（矢口・下丸子地区）地域で発掘した講師陣

講師陣は大田区在住の日頃研鑽を積まれているボランティアの方々をお願いしました

団体名 おおた生涯学習世話人会

会員数 30 人

設立

平成 25 年 5 月

団体の活動目的
活動実績

地域力推進課(生涯学習担当)が行う区民向け講座の企画・運営や教育情報誌(マナビィ)に「つなごう! O T A」取材記事の提供および学習相談会に協力している。
もう一つの柱として自主活動として地域の課題解決を「学び」を切り口として地域に根付く生涯学習の普及・浸透をめざした活動を行っている。

ボランティアガイドが大田区の魅力を発信！

事業名 大田区来訪者外国人対応ボランティアガイド

助成額 40万円

◆地域での課題

羽田空港を経由して来訪した年間1千2百万人以上の外国人および日本に在住している外国人ともに大田区を通過点と見ている。
大田区の魅力を発信し、観光目的として訪れる人を増やす。

◆基金事業概要と達成した成果

- (1)池上本門寺、穴守稲荷、羽田空港、大田市場等と連携したガイドを実施した。
- (2)年 10 件のガイド計画に対して、各所からの要請などで年 23 件のガイドを行った。

◆これからの取り組み

- (1)訪日外国人が満足するガイドコースの再検討を関係各所と行い魅力あるガイドコースを設定する。
- (2)英語、中国語、フランス語、タイ語等によるガイド品質の向上を図る。
- (3)2020年オリンピック開催時への体制作りを継続的に行う。

ガイドグループマークおよびガイド状況



マーク



羽田国際線ターミナル



町あるき



大田市場まつり



本門寺春祭り



羽田例大祭

主なガイド実施例

日程	内容	実施場所
4月	池上本門寺春まつり	本門寺
7月	羽田例大祭	羽田地区
8月	献灯祭り	穴守稲荷
9月	松涛園	本門寺
10月	空の日フェスタ	羽田
10月	御会式	本門寺
10月	大田市場	大田市場
12月	日本文化体験（喫茶去連携）	池上梅園
1月	梯子乗り	本門寺
2月	町歩き	蒲田地区

団体名 大田区外国語ボランティアガイドグループ

会員数 58人 設立 平成27年8月

団体の活動目的 活動実績

羽田空港などから来訪した外国人観光客および国内各所に暮らしている在住外国人に観光地化されていない大田区内の町および各施設をガイドし、大田区及び日本の本当の良さを知ってもらうことを目的としている。
参加者：269名、国数：32カ国、人数：米国73名、中国49、英国14、豪州13他、男女比：49：51

こんにちは、東京ノルディックウォーキングクラブです♥

事業名

40代から始める健康づくり・仲間作り
ノルディックウォーキングメソッド

助成額

23万円

◆地域での課題

地域活動を担う方の高齢化、それを取り巻く人々の結びつきの希薄化が都市部地域の問題となっている。また高齢化による医療費の増加が懸念されている今日、健康寿命を延ばし、地域で楽しく仲間づくりができる活動が期待されている。



◆基金事業概要と達成した成果

助成金 2 年目に入り、ノルディックウォーキングの参加者も徐々に増え、練習会や講習会には若い方から高齢の方まで健康づくりの運動として参加していただくことができました。また他の団体とのコラボレーションにより街歩きのツールとして紹介することができました。この事により新たにノルディックウォーキングで健康づくり・仲間づくりの輪が広がりました。



練習会の集合写真

写真上 11/8 練習会(池上本門寺)季節を感じる一枚。

写真下 12/2 講習会(赤坂御用地付近)国際色豊か。

◆これからの取り組み

池上での、練習会を引き続き実施し、基盤作りをしながら講習会、遠足会など独自の活動を行っていきます。また、若い方から高齢の老若男女、国籍問わず、他団体とのコラボレーションを進めて行きたいと思っています。これからも、皆が健康で楽しい仲間と過ごせるお手伝いを誠心誠意やっていきたいと思っています。



まちの魅力を発見しよう講座の第 2 回目(こらぼ大森にて)ノルディックウォーキング(NM)のレクチャー後、大森西の内川を参加者がNWで歩き、内川の自然や地形、歴史を学びました。

団体名

東京ノルディックウォーキングクラブ

会員数

8人

設立

平成 14 年 10 月

団体の活動目的
活動実績

大田区と近隣地域においてノルディックウォーキングの普及を通し、体力の維持・向上、技術の習得、運動の習慣化を促し、情報の発信、交流の場をつくり地域の健康と明るい社会づくりに貢献していくことを目的としています。

ちょっとお茶でもいかがですか？ 出前茶道教室

事業名

茶道の体験出前授業
区内茶室での茶会開催・出張茶会開催

助成額

23 万円

◆地域での課題

日本の伝統文化「茶道」は海外の方から見ると「日本と言えば!」というくらいにイメージが定着しているものですが、日本人にとっては意外に敷居が高く、子どもが経験する場が少ないのが現状です。もっと身近に茶道を体験できる環境を提供するために活動をしています。



◆基金事業概要と達成した成果

《概要》

- ・茶道の体験出前授業…夏休みわくわくスクールや日本の伝統文化の授業で区内・区外小学校に出向いて子供たちに茶道体験の場を提供。
- ・区内茶室での茶会開催…FB やブログを活用してイベント開催の宣伝及び報告を実施。池上梅園茶室では親子体験型茶会、敷居を低くした参加しやすい茶会を企画開催。海外の方に向けた日本文化体験を同じくスタートアップ助成を受けて活動されている OTG の皆さんと開催。
- ・出張茶会…洗足区民センター・田園調布ミンジーカフェ等地域の方々に茶道体験の場を提供。

《成果》

どの事業も一度開催したら必ずと言ってよいほどにリピーターが来てくださる。これは、茶道に興味があるが、なかなか敷居が高くて踏み込めなかった世界に一步踏み込めたという参加者の思いが率直に反映されていると思う。そして何より、この 2 年間は助成金を受けて実施できたことで、団体の金銭的負担は大幅に軽減された。



わくわくスクール

今年度初めて依頼のあった都南小学校、徳持小学校と入新井第二小学校での様子。入二小のお菓子はご近所の和菓子屋さん特製の朝顔です。



◆これからの取り組み

H29 年度は残念ながら区のステップアップ助成に採択されず、資金繰りが不安ではあるが、スタートアップ助成を有意義に活用し、せっかくここまで活動を広げて来られたので、最低でも活動の継続を試みたいと思う。

日本文化体験

大田区外国語ボランティアガイドグループ OTG とのコラボで海外の方に日本文化体験を開催しました。盛りだくさんのメニューを満喫されていました。

団体名

茶道キャラバン喫茶去 (きっさこ)

会員数

10 人

設立

平成 24 年 4 月

団体の活動目的
活動実績

《活動目的》この会は、茶道を体験することで、心安らぐ時間を共有し、物を大切に扱う心や、人を思いやる心の育成を図る。茶道の多面性を活かし、地域社会の文化および福祉の発展、社会教育の推進、子どもの健全育成、高齢者の健康維持などの公益増進に寄与することを目的とする。

《活動実績》H28 年度 わくわくスクール 10 校、出前授業 3 校、茶会開催 3 回、出前茶道体験 2 回

もしも…の時の為に 今出来る事を

事業名	防災教室 つながりが命をすくう つながろう！つなげよう！	助成額	22 万円
-----	---------------------------------	-----	-------

◆地域での課題
子ども達はライフスタイルの変化により「関わりや繋がり」の希薄な環境に置かれ、豊かな体験や安定した心の成長を自然に身に付ける機会が少ない。学校・家庭・地域の繋がりを再構築することによって、地域ぐるみで子どもを育て、安心して支えあう土台作りが必要である。

◆基金事業概要と達成した成果
防災教室を開催することによって、児童・保護者・地域住民の防災への関心・スキルの向上を目指し、地域での絆や繋がりを育てていく。

「東京防災」を活用した実践的な防災訓練の取り組みを始めた。
更に、被災地の東松島市へ松の苗木を里帰りさせる「松ぼっくり大作戦」を学校・地域に展開させ 11 月には松の植樹をおこなった。

◆これからの取り組み
防災教室開催を通して
①児童・保護者・地域の関心及びスキルの更なる向上を目指し、防災訓練への参加者を増加させる。
②「松ぼっくり大作戦」を通して子ども達にボランティア精神の普及を図る。
③地域との絆や繋がりを育てる事によって、地域コミュニティ再生を図る。有し、解決への道と一緒に探せる団体像を目指す。



講演会「災害時の食を考える」



「子ども防災教室」



「ドキドキ避難所体験」
女子高生震災語り部講演



ツナ缶ランブ



ダンボール寝床作り

「講演会、防災教室、宿泊型避難所体験」

非常食を使ったメニューを提供する講演会、自分の命を守る為の子ども防災教室や、学校に一泊する避難所体験を開催。



「携帯トイレ普及活動」



(OTA ふれあいフェスタにて)



「松ぼっくり大作戦」



宮城県東松島市に植樹

「携帯トイレ、松の苗」

複数町会の防災訓練や、各地イベントにて携帯トイレの普及活動。少し大きくなった松の苗を、宮城県東松島市に植樹。

団体名	学校支援地域本部	サポート松仙
会員数	6 人	設立 平成 23 年 4 月

団体の活動目的
活動実績
子ども達の教育活動を充実させる為、現状に於いて希薄になってしまっている学校・児童・保護者更に地域住民との協力体制を再構築していく。地域住民が学校に積極的に関わる事によって、教育環境の質の向上と地域全体の教育力の向上を目指している。昨年度より「防災」に特に力を入れる事によって、地域の繋がりを再構築し、地域ぐるみでの協力体制を整備していこうとしている。

ポールdeウオークで元気いっぱい！

事業名 おおたポールdeウオーク学校&リーダー養成研修会

助成額

23 万円

◆地域での課題

超高齢社会を迎え、シニアがいつまでも社会の主役であるための近道は、常に外出を好み、友達と会い、趣味や食事を共にすることです。それに最適なポールdeウオークの更なる普及と、そのために区内各地域に身近な指導者がいて誰もが体験できることが当面の課題です。

◆基金事業概要と達成した成果

区の公募したポールdeウオーク学校の自主継続と健康・介護関係事業所等のスタッフ対象のリーダー養成研修会を上半期は六郷地域力推進センターで、下半期からは嶺町出張所大集会室との2か所で開催し、地域バランスを考慮した指導者育成を図り、昨年度と合わせて約 80 名の人材を確保。自治会、老人いこいの家、さわやかサポート、シニアクラブ等で体験会、教室の開設が相次ぎました。

◆これからの取り組み

今後大田区全区的な展開を図るうえで区内 4 地域に各 2 か所ずつの重点拠点を確保し、これまで研修を修了した指導者に積極的な参加を呼びかけるとともに、会場、ポールの確保などの環境整備を進め、健康、防犯、防災をテーマに区民がいつでもどこでも二本のポールに気軽に触れられ、歩けるように取り組めます。



ポールを持って歩くと楽しい！

サッカーにボール、野球にボールとバットがあるように、ポールdeウオークには2本のポールがあるから歩くことが楽しいのです。



区内各地の仲間とともに

老若男女はもとより、障害のある方と健常者が一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの主役は、なんといってもポールdeウオークです。さあ、あなたも……

団体名 一般社団法人木谷ウオーキング研究所

会員数 650人

設立

平成24年1月

団体の活動目的
活動実績

「いつでも どこでも 誰でもできるみんなのスポーツ」ウオーキングを、年齢や体力に応じて誰もがいつまでも楽しめることを目的に6年前に発足しました。各地で研究会やシンポジウム、講演会、伊能忠敬になってみよう！星と地球楽校、ユニバーサルウオーキング等を開催してきました。

「次代を担う地域の人材」を地域で育む

事業名

新名所「新馬込橋」活性化実行委員会事業
平成28年度「馬込の月見まつり」

助成額

23万円

◆地域での課題

【「次代を担う地域の人材」が新しい発想で活躍できる機会を提供すること】

自治会・町会に加入した40ないし50代の「次代を担う地域の人材」が地域活動に対し、新たな発想でやり甲斐と熱意を発揮していただきながら、活躍できる機会の提供が課題となっている。

◆基金事業概要と達成した成果

【近隣の関連施設や団体との相互理解を深めるとともに、強固な協力体制を構築】

- (1) 馬込図書館と郷土博物館と連携して川瀬巴水のイベントを開催。
- (2) 周辺施設や学校、地域の著名人や団体と連携して俳句コンテスト（小学生対象）やコーラスを開催。
- (3) 会場の照明には防災用カンテラを使用したことで、町会備品としても用いられ、防災の意識啓発にも寄与した。

◆これからの取り組み

【より地域に浸透した事業を目指して】

- (1) 近隣の関連施設や団体との相互理解をより一層深めていき、連携体制を更に強化し拡充していく。
- (2) 青少年の更なる参画を推進するとともに、防犯・防災を意識した取組を目指していく。
- (3) より地域に浸透した事業を目指すべく、当該事業の検証を図っていく。



←【日本古来の伝統文化を】当日は、素晴らしい好天に恵まれました。

こちらは、会場の「お月見飾り」の様子です。

都心の幹線道路の上に架かる橋に照らされた優しい光は、世代を超えた日本の伝統文化を醸し出し、風情のある景観を造り出しています。ご来場の皆さまには、たいへん好評でした。

↓ 開会式終了後は、小学生の俳句コンテスト(写真上段)を皮切りに、和太鼓やコーラスなどが披露されました。「新馬込橋」から臨む満月は至高の風景となりました(同上)。近隣施設と連携し巴水の野外上映会も開催しました(写真下段)。



団体名

新名所「新馬込橋」活性化実行委員会

会員数

20人

設立

平成27年3月

団体の活動目的
活動実績

【目的】馬込の新名所「新馬込橋」に訪れる国内外全てのお客様に対し、「国際都市おおた」に相應しいおもてなしをしていくこと。

【28年度実績概要】28年10月15日(土)、地域の大人と次世代を担う子どもたちが共に集える行事として、「第2回 馬込の月見まつり」を開催し、日本古来の伝統文化に親しみ、味わう機会を提供するとともに、地域の活性化にも大きく寄与した。

広げよう！ 絵本でつながる地域の輪

事業名 社会参加と認知症予防のための「絵本読み聞かせ講座」 助成額 23 万円

◆地域での課題

都市部における核家族化は大田区においても例外ではなく、世代間交流の機会創出としてはもちろん、情操教育や読書に親しみを持つきっかけ作りの一助としても、地域の保育施設等におけるシニアによる読み聞かせボランティアをより広域で導入することが課題でした。



◆基金事業概要と達成した成果

絵本の読み聞かせに関心のある大田区在住高齢者を対象に、社会参加と認知症予防を目指すプログラム事業「絵本の読み聞かせ講座」を開講し、当団体への新規メンバーの加入を目指しました。

講座参加者の出席率は現時点において90%を上回っており、1 月中の講座修了と、その後の「読み聞かせボランティア」としての地域デビューに向けて、現在も技術アップに取り組んでいます。

ドキドキワクワク・・・初めての絵本読み聞かせ
みんなで体をほぐしたら、読み聞かせのパフォーマンス。
絵本の読み込みはもちろん、絵本の持ち方や姿勢もチェック。

◆これからの取り組み

本講座受講生 20 名のうち多くの方々が修了後に大田区内での絵本読み聞かせボランティアとして活動することを目指しています。

今後も新たなメンバーとともに大田区全体への活動拠点（保育園や幼稚園、高齢者施設など）の拡大を続け、より一層地域社会に貢献できるようボランティア団体としての醸成を目指します。



3 ヶ月の講座を修了、さあ始めよう地域デビュー！
お気に入りの絵本を手に記念撮影(写真は 27 年度修了生)。
より良い地域づくりを目指して、読み聞かせ活動をはじめます。

団体名 バンダナクラブ

会員数 41 人 設立 平成 23 年 4 月

団体の活動目的
活動実績

【活動目的】 地域の子どもたちへの絵本読み聞かせを通じて、その健やかな成長の一端を担うことを目的としています。また知的活動に協同して取り組むことで、認知症予防や孤立予防はもちろん、地域貢献という形で生きがい感や自己効力感を高めることも、併せて活動の目的としています。
【活動実績】 保育施設等における読み聞かせ活動 88 回 勉強会など 53 回（平成 27 年度）

おとなのサロンでフチ英会話

事業名 入門からはじめる英会話サロン【EDO会】

助成額 23万円

◆地域での課題

大田区内の英会話教室は大小合わせて100余ありますが、入門・初心者向けに安価で習えるところは多くはありません。また、恥ずかしいから、他の参加者に迷惑を掛けたくないからと英会話学校に通わない方も、沢山います。

しかし、オリンピックに向けて英会話熱は高まっております。



英会話サロン

区内8か所で毎月英会話サロンを開催し、英語による交流と地域での居場所づくりの活動を行いました。

◆基金事業概要と達成した成果

おとなのサロン登録者800名を達成し、区内8か所でサロン開催中。サロン開催に必要なインストラクターを養成しサロンを主催。

英会話普及だけでなく地域の活性化に繋げるための事業を行います。



西蒲田商店会接客英会話講習会

講習会

平成28年9月より西蒲田商店会の接客英会話講習会に講師として支援させていただきました。



馬込生活学校英会話講習会

平成28年9月馬込生活学校の英会話講習会に講師として支援させていただきました。

◆これからの取り組み

多目的サロンの開催

地域のコミュニティづくりの拡大に貢献するため英語による交流と趣味、実用を併せた多目的サロンを開催していきます。

地域、個人のつなぎ役の活動

町会、自治会をはじめ、商店会、企業、各種法人の多文化共生、活性化の推進のための活動を推進していく予定です。



東六郷一丁目町会防災訓練

10月30日町会主催の防災訓練で通訳をさせていただきました。

東蒲田一丁目町会子供向けサマー英会話

7, 8月、子供向けフチ英会話の講師をさせていただきました。

団体名 英会話同好会 from OTA

会員数 800人 設立 平成26年11月

団体の活動目的 活動実績

本会は、東京都大田区内において多くの区民に英会話を学ぶ機会を提供し、英会話を学ぶことを通して、多文化共生、地域力向上に貢献し、地域のコーディネーターを育成することを目的とする。また、他団体間のつなぎ役を果たし、多文化共生、地域力の向上に貢献する。

『伝えたいことをきちんと伝える』ことの大切さを実感出来るカリキュラム

事業名

2017 年春開催予定のミュージカルコンサートに向け【毎月ワークショップ開催】

助成額

16 万円

◆地域での課題

「伝えなければならないことをきちんと伝える力」を学び、コンサート・被災地支援・高齢者施設慰問という経験を積むことで「表現することの喜び・大切さ」を実感する。大田区在住の小中学生を中心に国籍・学校・学年の違う子どもたちがコミュニケーション能力を高め、プロの表現者より本物の「発信力・表現力」を学ぶ。社会教育の推進に役立て、子供の健全育成・地域社会への貢献に寄与することを目的とする。

1.



【無料！公開ワークショップヒップダンス編 ～伝えたいこの気持ち・ダンスで伝えるって面白い！】(大田区立田園調布中学校) 2016・6・12

◆基金事業概要と達成した成果

1・教育 DANCER 生沼幹夫先に 2 時間たっぷり ヒップダンスの極意を教わりました。ピボットフット蒲田教室の生徒さんたちダンス披露もあり、皆自分の持ち味を大切に伝えたい気持ちを一生懸命伝えることの大切さを考えるワークショップになりました。何よりも全身汗だくで表現する楽しさを実感できました。

2.



【無料！公開ワークショップヒップダンス編 ～この気持ちをピアノ・歌・ダンスで伝えるって面白い！】(大田区立田園調布中学校)2016・8・28

2・谷川賢作先生（曲家・ピアニスト）と生沼幹夫先生（教育ダンサー）による 3 時間に及ぶワークショップ。大田区を中心におよそ 100 名の小中高生が、表現すること・発信することの楽しさを学びました。谷川先生は、子ども達から集めた言葉をつないでその場で作曲！ 子ども達は、自分たちが発した言葉に谷川先生が命を吹き込み、メロディーに乗って歌が完成していく工程に驚きを隠せず大喜び！ 生沼先生は、『鉄腕アトム』の即興ダンスを子どもたちに振付指導されました。参加した子ども達は、『鉄腕アトム』を谷川先生のジャズバージョンのピアノ伴奏で歌って踊り、『伝えたいこと』を表現力豊かに発信することの素晴らしさを全身で実感！貴重なワークショップとなりました。2017 年 3 月開催の『バイリンガルミュージカル』に吹奏楽で参加の中学生や大田区羽・蒲ヒップダンス教室の子ども達も参加してくれました。

◆これからの取り組み

様々な分野で活躍するプロの表現者との共演を積極的に取り入れ、ミュージカルにチャレンジすることを通じて子ども達に将来 社会にどう貢献していくのかを考える機会を与え、その子供たちにより良い環境をつくる大人の役割を育てていきたい。

団体名

EXPRESSION (エクスプレッション)

会員数

7人

設立

2015 年 1 月

団体の活動目的
活動実績

EXPRESSION ではテレビ・舞台でご活躍の音楽家・演出家の指導を直接受け、著名人・プロと共に舞台に立つ貴重な機会を通して、団体の軸である「表現力」「発信力」のクオリティを向上させ、子供たちは一つの作品を仲間と共に作り上げる達成感を将来への自信につなげていく。言葉と音楽で「記憶に残る」ステージを作り上げる喜びを実感出来るプログラム。

おおもりの地域に根ざした子どもと家族への応援

事業名

大森地域の子ども居場所づくり & 学習支援教室の開設と
子育て家族の応援

助成額

246万円

◆地域での課題

- ・「家族のきずなづくり」の強化
- ・「子どもたちの遊び場」の減少
- ・小学生の学習習慣と生きる力の確立
- ・子育て家族の貧困化・孤立化
→地域内で（世代）交流がないこと
- ・中学生の学習困難が増加

◆基金事業概要と達成した成果

学習支援教室「いるか」を創設、地域から応募してきた高校生・大学生10名が24名の小学生の学習支援を毎週土曜日に開催。地域の多世代交流や家族のきずなづくりの場としてさまざまなイベントを企画・開催。継続的な学習支援からは、新たな課題（我が子の発達障害等）が見えてきた。また、ここで会った地域の人と、外で会ったときに挨拶ができるようになる子も。地域で根付きつつあると感じている。地域内小学校等からも大きな評価をいただくようになった。

◆これからの取り組み

新たな課題が見えてきたことから、子どもの学習支援は家族のきずなづくりや生活応援と表裏一体の取り組みだと強く感じています。これをとにかく継続すること、また新たな課題を基に、まだできていない保護者を巻き込む（組織化する等）、地域の方との交流の機会を増やすなど今あるベースをもとに活動をしていこうと考えている。

団体名

おおもり子育て応援隊

会員数

21人

設立

平成25年 3月

団体の活動目的
活動実績

【活動目的】大森地域の子どもと家族の支援。

【活動実績】こらぼ体育館を会場に「おおもり・おやこまつり」を開催。こらぼ体育館を会場に「おおもり・まちづくりフェスタ」に出展。地域の公園を会場に「家族そろってカレーパーティー」を開催。キッズな大森を会場に「夏休み連続学習教室」を開催。H28. 4～学習支援教室いるか開講。



特別教室「しおひがり」の集合写真。
親子でたくさんの家族が参加。



学習支援教室いるか。勉強風景の1コマ。
わからないことがあれば、教え合えるほどに関わる力が
ついてきた。



特別教室「納涼会」の1コマ。
地域の方が子ども縁日のお買い物に来てくれた。

ユニバーサルなまち 新井宿へようこそ！

事業名

おおたユニバーサル・ワークショップ
～地域文化 de ぶんれあいづくり～

助成額

231 万円

◆地域での課題

文化・福祉・医療・行政等、多くの施設を有するハードのポテンシャルが高い新井宿地区ですが、地域の NPO と地縁活動団体とが連携・協働して、地域住民がつながり互いに支え合う、誰もが安心して快適に、文化的に過ごせる「ユニバーサルなまち 新井宿」を推進する事業が必要であると思います。

◆基金事業概要と達成した成果

新井宿地区の自治会、町会、青少対、民児協などの地縁団体や特別出張所、さぼーとぴあと連携・協働して、大田区の地域文化といえる、モノづくり、伝統工芸、文化・芸術の各分野で活躍する講師によるワークショップを実施、地域住民や来訪の講座参加者とともにぶんれあい交流することによって、「ユニバーサルなまち 新井宿」を発信し、住民の地域力を推進しました。

◆これからの取り組み

28 年度に引き続き、ワークショップを通して、「ユニバーサルなまち 新井宿」を内外に発信し、地域住民のアイデンティティを喚起し、地域の人材とネットワークというソフトのポテンシャルを向上させて、地域住民がつながり互いに支え合う、誰もが安心して快適に、文化的に過ごせる「ユニバーサルなまち 新井宿」を推進する事業にしたいと思います。



左上：講師・田中隆(安久工機・工博)さんによる解説
右下：下絵の上にアクリル板を重ねて、いよいよ「触図筆ペン」体験中！



左上：造形作家・高田栄一さんの指導により、顔面おもちゃデザイン中！&左下：「顔面おもちゃ」完成です！
右：鍋谷孝さんの指導で、蒲田の切りガラスを体験中！

団体名

特定非営利活動法人 大森まちづくりカフェ

会員数

80 人

設立

平成 16 年 4 月

団体の活動目的
活動実績

私たちは、大森を中心とした地域において、地域のさまざまな「魅力」を、保全、発見、創造し、それらに関する情報の発信、交流・学習の場の創造、活動・事業の支援などを通じて、地域のよりよい生活文化、生活空間の創造と、地域の活性化に寄与することを目的とする NPO 法人です。地域の魅力を創造するイベント開催、情報紙「大森まちづくりカフェ」の発行を実施しています。

地域 みんなで楽しくスポーツ

事業名 スポーツを通じて地域の多様性を創出する事業

助成額 66 万円

◆地域での課題

地域の障害者の社会参加、日常生活の充足度の向上を目的に H26 年度より「スポーツを通じて障害者の日常生活を支援する事業」を実施。目的はある程度できたが参加者から日常生活に関する事、支援者から気軽に参加できるスポーツサークルがない、障害者と知り合う機会がない等の相談を受ける事が多くなってきた。



◆基金事業概要と達成した成果

事業概要：①わくわく健康体操、初心者スポーツ教室（バドミントン、ポッチャ、その他）の企画・実施②おたけんこう大学の企画・実施③地域交流を目的としたイベントの企画・実施④会員を対象にした体力測定の実施

達成される効果：①地域の障害者の社会参画と交流の推進。多様性を許容する地域社会の創出。②参加者の体調管理・体力維持。QOL（生活の質）の向上。

わくわく健康体操

インストラクターの指導を受け定期的に開催しています。



◆これからの取り組み

- ①主要事業（わくわく健康体操、初心者スポーツ教室）の継続。
- ②新たな競技の対応の検討。

初心者スポーツ教室

毎回白熱します。徐々にリピーターも増えています。

団体名 大田区障害者スポーツ倶楽部

会員数 40 人 設立 平成 22 年 10 月

団体の活動目的
活動実績

活動目的

①無理のない範囲で体を動かす習慣をつくる。②機能訓練の一環としてゲーム性のある競技を取り入れる。③参加者同士のコミュニケーションの促進。

活動実績 平成 27 年度総参加人数 633 名

見て、聞いて、触って、食べて、妄想して?!

大田区の魅力をまちごと体験できる

事業名 まちごと体験ミュージアム

助成額 122 万円

◆地域での課題

当館では来館者やメディアの取材で周辺の歴史遺産、工場、店舗など見どころについて尋ねられる機会が多い。一方で、大田区南部地区に比べて、北部地区（下丸子、久が原、洗足、田園調布等）の紹介やまち歩きツアーなどが少なく、区外の方には知られていない。地域では、商店街、地域の活性化のための集客の要望や外国人観光客を呼び込みたいというニーズがある。その一方で、当館をはじめとして、すでに、企業、団体、個人によるツアーの受入体制がある。こうした需要と供給側がうまく結びついていないことが課題である。



◆基金事業概要と達成した成果

「まちごと体験ミュージアム」では、まず第1に情報のニーズと、すでに受入体制のある企業、団体、個人とのマッチングを「まち歩き」を通じて行い、ネットワークを作ることと、コース作り、ツアー実施によって大田区北部地区の魅力を知らせてもらうことである。第2に、当館や周辺施設等を「まちごと体験ミュージアム」とし、実際にくらしやモノづくり、自然、グルメ等をツアー参加者に体験してもらい、五感でこの地区の魅力を知らせてもらうことである。見る、知るに加えて、「体験できる」まち歩きツアーが本事業の概要である。

初年度は、町の魅力を発見する勉強会を立ち上げ、10/22 にトーク&ツアー「給食の揚げパンとミルク」、11/26 に「昭和レトロ建築散歩」を開催した。12 月と3 月にもユニークなツアーを計画している。

トーク&ツアー「給食の揚げパンとミルク」
 鶴の木にある“東京あげぱん”で揚げパンの発祥のお話と揚げパン作り体験をし、まちを散策しながら昭和のくらし博物館で開催中の「パンと昭和」展にまつわる給食のコッペパンとミルクのトークを聞きました。歩いて、見て、聞いて、作って、食べて、学んで、まちの魅力を存分に味わっていただきました。(10/22 開催)

◆これからの取り組み

初年度は、12/17 に「ジモト妄想トリップ」という、現在は見ることのできない、千鳥町の古代遺跡を巡るツアーや、3/5 に「梅の隠れ里の早春ツアー」という、地元住民にもあまり知られていない梅の名所を巡る、この地域ならではのツアーを開催する予定である。

次年度はさらに、ツアーを行いながら、ニーズと地域とのマッチング体制を整えた上で、区内外、外国人客等、多くの方に地域の魅力を知らせてもらい、地域を訪れてもらえるような仕掛けのある、地域の見どころが紹介された、「まちごと体験ミュージアムマップ」を作る計画である。



「昭和レトロ建築散歩」
 千鳥町、久が原、下丸子を歩き、昭和時代に建てられたレトロ建築を巡りました。地域や所有者の方の協力で普段は入れない貴重な建物の内部も体験していただきました。(11/26 開催)

団体名 昭和のくらし博物館

会員数 18人 設立 平成11年 2月

団体の活動目的
 活動実績 昭和のくらし博物館は、昭和 26 年建築の木造 2 階建の庶民住宅（登録文化財小泉家住宅）を丸ごと公開している博物館です。昭和 30 年前後のくらしの常設展示・昭和のくらしについての企画展・特別展などの他、くらしを考える講座・イベント、地域を巡るツアーなどを開催しています。

地域で楽しく元気に集まろう！

事業名 蒲田から発信！サロン活動で楽しく地域包括ケアシステム！

助成額 198 万円

◆地域での課題

地域包括ケアシステムにより、介護保険事業は地域住民の助け合いに一部委ねられることになりました。地域がケアを担うと言っても、コミュニティが失われ、福祉系 NPO もなかなか参画できません。地域特性に合わせたシステムを創るにはボランティアの発掘・育成、誰でも気軽に立ち寄ることが出来る集いの場作り、中高年齢者に対する介護予防、健康増進活動が必要です。17 年地域で事業を営んできた NPO として地縁団体（町会など）と区民活動団体や NPO が結びついて連携を深め「地域力」をさらにもり立てるため活動します！

コミュニティカフェ ココらっこ

おしゃべり
とランチは
みんなの
活力！



地域で活躍のお医者さん、歯科衛生士、管理栄養士などの専門職や区民活動団体の健康にまつわるお話を聞き！ 体操とランチ！



地域で人気の体操の先生とみんなで汗をかく！！流行りのコグニサイズのような脳トレ体操も大笑いしながら取り組んでいます。

◆これからの取り組み

- わたしたちの地域活動地域生活のいろんな場面で！
- ①毎年 11 月大根 100 本をはじめ野菜、果物などを仲間販売する産直市
 - ②毎月第 3 日曜日は新品雑貨や衣類の販売ガレージセール、とともにコミュニティカフェ
 - ③隔月で、障がいを持って楽しく集えるぶれいるーむらっこ
 - ④自分の情報を整理できる「安心のーと」、地域活動のテキスト「みんなでつくる地域包括ケア」発行

地域に住む多くの方が、地域活動に踏み出してもらいたい。厚生労働省が勝手に「元気な高齢者もみんなで包括的にケアし合える地域を創ってください」と言っているけれど、自分たちの地域は自分たちでデザインできるチャンスだ！と思って取り組みたい！そんなあなたへの冊子づくりました。

団体名 特定非営利活動法人 福祉コミュニティ大田

会員数 54人 設立 平成11年10月

団体の活動目的 活動実績

蒲田本町で 1999 年 10 月 NPO 設立、2000 年の 8 月通所介護事業所(都指定)開業。ぶれいるーむ活動、産直市開催、助け合いを地域活動事業として運営。2003 年大田 NPO 活動団体交流会設立(2011 年まで役員)。2006 年都指定訪問介護・居宅介護支援事業開業。2007 年 WAM 福祉基金助成により地域活性化プロジェクト「緑水ひと」事業展開。介護保険・認知症予防出張講座を区内各地で開催。「安心のーと」を開発、地域の安心を創る事業を展開。2009 年大田区通所介護事業者連絡会設立(2013 年まで会長)。2011 年おおた区民活動団体連絡会設立(共同代表)。ステップアップ助成金事業 2012-13 年活動。2016 年 4 月より代表が NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会理事長、おおた地域包括ケアシステムをすすめる会代表を務める。

東日本大震災の経験を活かし災害に強い街に！

事業名 「防災セミナー」・「宿泊型避難所疑似体験防災研修」 助成額 81 万円

◆地域での課題

大田区では、3 万件を超える火災と、1,000 人を超える死者が出ると想定しています。

区民が防災を意識するきっかけとなった東日本大震災も6年という歳月の経過と共に、その「記憶」は徐々に薄れてきているのが現状です。

◆基金事業概要と達成した成果

縁プロジェクトでは、東日本大震災以降の災害支援ボランティアの経験を通じて得た技術を活かして、大田区民に災害時のスキルを広め、大田区を災害に強い区にしていこう、と考えています。

今年度は小学校2校と中学校1校で防災研修を行い、自治会や会館など10ヶ所で防災セミナーを実施しました。

◆これからの取り組み

縁プロジェクトと云えば、災害ボランティアをしながら防災活動している大田区内で唯一の団体と云われています。

被災地支援で得た経験が生かされた事業をさらに展開できると考えています。

来年度は、被災地を訪問して、被災者から直接ナマの声を聞き、地域防災に役立てようというツアーを企画します。

避難所運営ゲーム（通称 HUG）

災害避難所開設当初の運営組織の業務を疑似体験して、実際の発災時にスムーズな対応ができる能力を養います。



被災地から語り部を呼んで講話を聞く

宮城県東松島市から被災者を呼んで体験談を聞きます。この回は実際に経験した避難所運営について語っていただきました。



区立小中学校での防災宿泊研修

アルファ化米づくり(左上) まち歩きで危険箇所確認(右上)
体育館で消灯後のグループミーティング(右下)

団体名 縁プロジェクト（えにしぷろじえくと）

会員数 47人 設立 平成24年1月

団体の活動目的 活動実績 縁プロジェクトは、大田区などと連携して被災地・被災者および避難者への復旧・復興支援ボランティア活動を長期継続的に行っています。そして、この活動で培った経験やネットワークを活かしながら、大田区内で地域防災力の向上のために防災セミナーや避難所体験教室を開催しています。

“街に福を呼ぶ” 多摩川七福神『縁日』

事業名 多摩川七福神『縁日』の開催による地縁づくり

助成額 180万円

◆地域での課題

売上げ不振、後継者の問題等で閉店・廃業に追い込まれる店舗が増えている商店街。しかし、根本には商店街の利用者が減少していることが課題です。高齢化はこの地域も進んでおり、お年寄りや近隣にお住まいの方々が、日常的に利用しやすい仕組みや、安心できる安全なまちづくりも急務となっています。



◆基金事業概要と達成した成果

地域産業の変化や新しい住民の流入によって、見えなくなっている地域を「見える化」するのが本事業『縁日』です。『縁日』の実施は、人々が集い地域が見えてくるだけでなく、来街者を増やし、新しい活性化を生む起爆剤となります。更に、縁日によって地域連携が生まれ、企業の協力や地域団体の協力が得られるようになります。



【成果】・近隣老人ホームからお年寄りが来場
・区外からの「多摩川七福神巡り」に参加者増加
・東急グループの広報活動協力
・多摩川まるしえの縁日出店 など

多摩川七福神『縁日』風景

縁日(模擬店、大道芸、あおぞら市、スペシャルイベント)は徐々に定着しつつあり、来場者も増えている。

◆これからの取り組み

商店街の日常営業の売上げに結びつけるために、地域産業(町工場)とのコラボレーションを行います。具体的には『縁日』の“ものづくり市”への出店参加を促し、昔のように町工場と商店街の距離を縮め、気軽に商店街を利用してもらうベースをつくります。また、商店街でも町工場の製品を販売出来るようにして行きます。縁日の“ものづくり市”が、“世田谷のぼろ市”のような存在になることを願っています。



多摩川七福神巡り〈平成 29 年正月〉

正月(元日～4日、8日)に行った「多摩川七福神巡り」参加者の接待。1,000人以上の人が訪れた。

団体名 多摩川七福神実行委員会

会員数 17人 設立 平成 25 年 1 月

団体の活動目的
活動実績

「多摩川七福神」の設置を基軸に、地域の持続的な発展を目指し矢口地域や隣接する地域に居住する人々が協働と連携を図り、有形・無形の資源を活用して地域活性化を行うことを目的としています。
【実績】 武蔵新田商店会と共催で多摩川七福神『縁日』を矢口地域のシンボルイベントにした。大田・品川まちめぐりガイドの会の協力により七福神巡り〈ガイド付き〉ツアーを実施。 他

大田区で様々な演劇ワークショップを開催

事業名

「《演劇的教養》の活用による、区民のより豊かな精神生活実現事業」

助成額

107万円

◆地域での課題

演劇は、音楽や絵画や読書やスポーツと同様、人間の精神生活を豊かにしてくれる表現活動ですが、日本では、演劇に対する理解と教養が他の先進国に比べて著しく不足しています。

当劇団は、長年にわたって数多くの地域で実施してきた、さまざまな演劇ワークショップのノウハウを生かし、大きな潜在的需要があると思われる大田区を、都内および国内でも有数の舞台芸術の先進地域にしたいと考えています。

◆基金事業概要と達成した成果

今年度は、小学生対象3つ（池上小、池上第二小、馬込小）、中学生対象2つ（大森第二中、主に大田区内の演劇部）、高齢者対象2つ（徳持高齢者在宅サービスセンター、糀谷高齢者在宅サービスセンター）、幅広い年齢の方を対象に1つ（「色んな世代でえんげきワークショップ」）と、様々なワークショップを企画し実施しました。内容も、体験していただくワークショップ以外に、鑑賞を目的としたものや、座学中心の時間など、対象者や目的に応じて工夫し、約300名の方に受講していただくことができました。初めて演劇ワークショップを体験するという方が多く、演劇だからこそ触れられる個々の魅力や、コミュニケーションを楽しんでいただけたと思います。

その効果から地域のイベントや区内の他小中学校、大田区文化振興協会と連携を結ぶことができ、さらに演劇を身近に感じていただく活動が徐々に増えています。

◆これからの取り組み

大田区文化振興協会と連携し、引き続き2年後に区民出演の「大田区民劇」の制作・上演を目標に掲げ、その素地作りとして、広く多様なワークショップを実施したいと思いません。

助成を受けた2年間の活動で、様々な方面に当劇団の存在や演劇の魅力を知っていただくことができました。今後もその繋がりを生かし、さらに広げるべく多彩な活動をしていきたいと思いません。



「幸福の王子」上演風景

2つの小学校で、プロの俳優による小人数のミニ公演を上演しました。実際に生徒さんにも、演じる体験をしてもらいました。



色んな世代の方を対象・演劇初心者の方でも参加可能な「色んな世代でえんげきワークショップ」

全6回開催。毎回様々なメニューに取り組み、演劇の楽しさを味わっていただきました。写真は、2人組で歌を歌いながら体を動かして対決するゲームの様子。

団体名

劇団山の手事情社 地域振興グループ

会員数

28人

設立

平成19年4月

団体の活動目的
活動実績

【目的】本会は、演劇を通じて、より良い地域社会作りに関する活動を行うことにより、地域の発展と福祉・教育・環境の向上に寄与することを目的とする。

【実績】劇団主催のワークショップ（短期・中期）の実施。アトリ工見学会の実施。

学校図書館をもっと！魅力的な空間に！

事業名 大田区読書推進ボランティアスキルアップ養成事業

助成額 79 万円

◆地域での課題

【未整備の学校図書館】

整備されていない学校図書館では児童・生徒は満足のいく読書活動は行えず、また、多くの保護者・地域ボランティアは不安を抱えて活動していた。その様々な課題解決のために図書ボランティアの人材育成を目的に、連続講座を実施することとなった。



◆基金事業概要と達成した成果

【魅力ある学校図書館に！】

基本講座とスキルアップ講座を設定し、じっくり 1 年間かけて、学校図書館に関する理解を深め、学校図書館を支えるキーパーソンとなる人材育成を目指した。講座内容は、講義と実践を取り入れ、特に学校図書館見学と情報交換の時間は、他校の活動の様子がよくわかると、参加者に好評であった。12 月末に学校図書館の改装整備を実施した小池小学校では、講座参加者も参加し実践的に学べた。

図書ボランティアのための基本講座

大森大五小、志茂田小、開桜小、大森第七中、小池小の学校図書館にて講座を開催。図書館見学、情報交換も実施

◆これからの取り組み

【学校図書館を読書センターに！

学習・情報センターに！】

ヒッポは、全ての小・中学校の学校図書館が行きやすく、使いやすく、居心地のいい空間になることを目指している。そのためには、人材育成が要であり、地域力をいかした大田区ならではの学校図書館運営が行えるよう、地域の担い手として事業を継続していく。



図書ボランティアのためのスキルアップ講座

池上第二小、おなづか小、田園調布中、東六郷小、馬込第二小の学校図書館にて講座を開催。

団体名 特定非営利活動法人 読み聞かせネットワークヒッポ

会員数 19 人 設立 平成 19 年 4 月

団体の活動目的 活動実績

ヒッポの事業活動は、子どもの読書を支援し、読書を通じた地域社会の発展と子どもの健全育成を目的としている。これまでに、採択された主な助成事業は、大田区のスタートアップ助成事業、ステップアップ助成事業、福島県ふるさと・きずな維持・再生事業、大田区社会福祉協議会助成事業、子どもゆめ基金助成事業など。2015 年 2 月に法人格を取得した。

障害のある人もない人も地域での共生を！

事業名 大田区における障害の社会モデル理解普及活動 - 障害平等研修編 -

助成額

107 万円

◆地域での課題

障害者差別解消法の施行時期が迫っており、地域における障害者の差別解消に関する啓発のニーズの掘り起こしが求められる。その際、日本が批准した、障害者権利条約に即した、社会モデルの視点で障害の問題を捉えるプログラム（障害平等研修 - DET など）が必要となる。



養成講座修了式

昨年度事業により、DET ファシリテーターが 16 名養成された。今年度は修了生による DET 研修を展開

◆基金事業概要と達成した成果

昨年度事業により、大田区在住・在勤の障害当事者らを中心として、DET（障害平等研修）ファシリテーターが誕生し、大田区は、日本随一の DET ファシリテーターがいる自治体となった。今年度は大田区各地 DET 研修を展開すると共に、企業向け紹介セミナーを実施（2月7日予定）し、大田区を中核に DET の認知普及に努める。



DET 研修実施風景

昨年養成講座修了生がファシリテーターとして活躍

◆これからの取り組み

さらなる普及を図るために、行政・学校企業など様々な団体組織に紹介セミナーや研修を全国的に展開する。

大田区での DET 普及活動に対する協力支援をいただいている団体「DET サポーター大田」とともに大田区内での、普及活動と、DET 事業を支えるボランティアの育成も進めていく。

団体名	特定非営利法人 障害平等研修フォーラム		
会員数	200人	設立	平成 17 年 11 月（任意団体）
団体の活動目的 活動実績	障害平等研修（DET）活動を通し、国内外の障害者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。今年 7 月に NPO 法人取得。これまで 28 か国 200 名近くの DET ファシリテーター養成や DET に関する書籍の発行、DET の啓発を進めてきた。現在、日本国内では国内の 60 人以上の障害当事者のファシリテーターとともに大田区をはじめ全国で DET を展開中である。		

元気をはっけん！大田ウェルネスクラブ

事業名 地域での運動・スポーツ活動推進事業（元気をはっけん事業） 助成額 107 万円

◆地域での課題

もっと身近に運動を行う場所が欲しい。

運動をするなら、ちゃんと指導者に教わりたい。

運動は体に良いことは分かっているけど、どうしたら良いのか分からない。

そんな声にお応えします！



トレッキング

鷹ノ巣山（箱根）・神主山（栃木県）・仏果山（丹沢）

◆基金事業概要と達成した成果

【集客力がつきました】

プロの指導者が指導する、トレッキング、テニス、ヨガ、リズム&ダンス、ストレッチ&筋トレの各教室を開催する事業を行いました。いずれの教室も、初心者向けの誰でも参加できる内容です。今回、広告費、指導者への謝金などを助成していただいたお陰で広報活動が充実し、指導者の確保もできました。



テニス



リズム&ダンス

◆これからの取り組み

【町内会の皆さんと協力してゆきます】

安定した活動が確保され、町内での認識も高まってきました。これからは、町内会のみなさんとも協力し、定期的な活動を広げて行きたいと思えます。



ストレッチ&筋トレ

団体名 特定非営利活動法人 大田ウェルネスクラブ

会員数 70人 設立 平成21年4月

団体の活動目的 活動実績

総合型地域スポーツクラブとして、幼児から中高年、障害者などすべての人々に対する運動の機会の提供に関する事業を行い、地域住民の健康増進、生活の質の向上に寄与することが、団体の活動目的である。

28年度は「おおた健康・スポーツフェスタ」「区民スポーツまつり」へ参画し「おおた地域スポーツネットワーク」では副会長として3月のおおた企業春のスポーツまつりの企画に関わった。そして、延べ1,000名を超える区民にスポーツ、運動の場を提供することができた。また、トップアスリート派遣事業により、子ども達のためにテニストップコーチを迎えたレッスンを予定している。

おいでよ、もうひとつの学びの場へ

事業名 もうひとつの学びの場プロジェクト

助成額

43 万円

◆地域での課題

小学校・中学校に通っていても、学習が十分理解できない、学校になじめない外国籍の子どもがおり、教科や日本語学習の支援が必要である。

また、通学していないが、学び続けたいと考えている中退者や大人からも、日本語学習支援の充実が求められている。



授業風景

宿題サポートを中心に、各自進度にあったグループ分けで、日本語及び教科学習支援をしています。

◆基金事業概要と達成した成果

○事業概要

週 1 回（年 48 回）の日本語および教科学習支援、学習者の関心や季節に合わせた美術・工作・書道等の実施

○成果

高等学校受験サポートにより高校合格者 2 名（平成 27 年度）

日本語会話初級レベルが中級レベルに到達



◆これからの取り組み

○日本語及び教科学習支援

○高校受験サポート

○日本語能力試験（N1、N2、N3）合格に向けた学習支援

○日本文化に触れ、学ぶ機会の設定

○進学相談、生活相談



書道、茶道、美術・工作で日本文化の体験授業

季節に対応した日本文化の書道、茶道、美術・工作でクリスマス・リースの制作等、体験授業を実施しています。

団体名 一般社団法人レガートおおた

会員数 15 人

設立

平成 21 年 7 月

団体の活動目的 活動実績

〔団体の活動目的〕平和・人権・共生の地域社会創出のために、①多言語による情報の収集および提供 ②地域におけるネットワーキング・交流の促進 ③日本語学習支援を含む多言語による外国籍住民との相互支援 ④多言語翻訳及び通訳派遣、その他の目的実現に資する事業

〔活動実績〕大田区国際都市・多文化共生推進課からの受託事業、高校進学ガイダンス、多言語相談等

歩き方を変えて筋力アップ

事業名 「インターバル速歩」いきいきトレーニング

助成額 107 万円

◆地域での課題

大田区田園調布地区は、区内でも高齢化率が一番高く、高齢者医療費が増加しているため、「健康なシニア層」の拡大及び生活習慣病の改善、および新しいコミュニティ（仲間作りの場）の創出し、中高年が生甲斐を持ち、楽しく毎日を健康に送ることができる地域コミュニティの形成を目指している。



◆基金事業概要と達成した成果

3分置きに早歩きと普通歩きを交互に行う足腰の筋トレで、ダイエットはもちろん免疫力アップにも効果がある。ポータブル運動計測器「熟大メイト」を装着し、蓄積されたデータを信州大学のホストコンピューターに送り、分析、数値化されて、アドバイスとともに参加者にフィードバックされる。

第1期の参加者のデータを見ると、総コレステロール、中性脂肪：改善した人は53.3%、体重、BMI、体脂肪率、腹囲について、改善した人は66.7%、体カアップした人は、72.7%という結果が出ている。

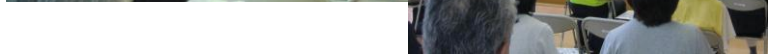
データ転送会の様子

月に一度のデータ転送会では、熟大メイトを装着して歩いたデータを転送し、グラフ化した個々のデータを検証する。また、ウォーキングフォームのチェックや体のケアの指導を行うことで、日々のウォーキングのサポートをしている。

◆これからの取り組み

インターバル速歩を通じた健康づくりは、専門スタッフのサポートに加えて、共に励む仲間があってこそ楽しく継続することができます。「一緒に歩こう会」を参加者に働きかけグループでの取組を支援する。

そして、この活動を田園調布地区のみならず大田区内外に広めていきたい。



インターバル速歩体験会

インターバル速歩の考案者である信州大学の能勢博教授を招いて体験会をおこなった。

団体名 一般社団法人田園調布グリーンコミュニティ

会員数 350人 設立 平成21年4月

団体の活動目的 活動実績

大田区調布地区を活動基盤とした「総合型地域スポーツクラブ」。子供から大人までの多世代が楽しめる多種目のスポーツ環境をつくり、スポーツを通して地域のコミュニティづくりと活性化を図ることを活動の主目的としている。12種の常設プログラムの他、おたスポーツ健康フェスタ、大田スポーツサミット、大田区民スポーツ祭り、田園調布グリーンフェスタ、ユニバーサル駅伝への参画、各種スポーツ大会、田グリ祭り、遠足の開催。大田区調布地区小・中学校の夏休みプログラムへの参加協力。

みんなの力で駅前花壇を花いっぱいに！

事業名 大岡山駅前広場花壇整備

助成額 49万円

◆地域での課題

大岡山駅前広場は当自治会の所属している商店街入り口の顔として整備された大きな広場です。ロータリーに面している花壇は1年を通じ地域住民や小中大学生の協力で綺麗に整備され課題である地域環境整備において大きな成果を上げています。この活動は平成19年に始まり現在に至っています。

◆基金事業概要と達成した成果

当地域は商店街を通じて地域の方々と様々なイベントを通じて街の発展及び安全・安心をコンセプトに活動しています。特に大岡山駅前広場の花壇整備においては、年々参加して頂く方が増え現在では100名以上の協力があります。19年から始まったこの事業は小中大学生の協力は不可欠で広い面積の花壇整備において大きな力となっています。現在の花壇では子供たちの希望であったリンゴやキンカン・ブルーベリーの実がなり壇整備作業に喜びと興味を持つ子供たちが増えてきたと引率の先生たちも喜んでおられます。当自治会はこの事から今後も継続する重要さを強く感じているところです

◆これからの取り組み

上記活動を継続しながら、子供たちの社会教育を拡充していきたいと思えます

地元の環境整備・安全安心な街づくりに重点を置きながら地域の方々の協力体制を充実していきたいと思えます。花壇整備やイベントを通じて地域全体で子供たちと接する機会を増やし社会に貢献できる大人へ育てたいと思えます。



自治会長挨拶と花壇整備説明

真剣に耳を傾ける100名の大森六中生徒さん



大森第六中学校農援隊

みんなで作業楽しいな！先生方や校長先生も一緒に作業！

団体名 大岡山北口商店街振興組合自治会

会員数 165人 設立 昭和38年4月

団体の活動目的
活動実績

千束地域住民と当自治会とのコミュニティー創設、当地域の安全安心の拡充
大岡山駅前広場清掃・商店街清掃・地域安全パトロール・大岡山駅前花壇整備・大田クリーン
キャンペーン協力・防災訓練・祭礼・盆踊り・大岡山さくらまつり・被災地協力支援義捐金・
他



地域力応援基金は、区民や事業者の皆様からの**寄付金**を積立て、区内で活動する**ボランティア団体**や**NPO**、**地縁団体等**が実施する**公益的な事業**を支える新しい基金です。

1 寄付金の活用

地域力応援基金へのご寄付は、「地域力応援基金助成事業」として大田区の財産となるべき地域力の発掘・活性化をすすめるために活用させていただいております。基金を活用して実施した事業は区ホームページで公開しております。是非ご覧ください。

2 寄付の方法 (寄付される場合には以下の3つの方法があります)

(1) 納付書によりお近くの金融機関で振り込む

➡ 寄付申込書を下記送付先まで送付してください。後日納付書をお送りしますので金融機関窓口でお振込みください。なお、手数料はかかりません。

(2) 現金書留で郵送する

➡ 寄付申込書を同封の上、下記送付先まで送付してください。郵送料等は恐縮ですが、お客様でご負担ください。

(3) 直接現金をお持ちいただく

➡ 大田区役所6階地域力推進課にお越しください。寄付申込書はその場でご記入いただきます。

3 寄付申込書の入手方法

寄付をされる場合には寄付申込書が必要です。寄付申込書が必要な方は、大田区HPからプリントアウトするか、下記問合せ先までご連絡ください。後日郵送でお送りします。

4 寄付の流れ (※上記2寄付の方法(1)の例)

